

# ファカルティレッドプログラム/FL 2020年春実施プログラム 募集要項

## I. 概要

ファカルティレッドプログラム/FL(以下「FLプログラム」という。)は、高度教養教育・学生支援機構グローバルラーニングセンターで実施している長期休業(春・夏)を利用した約2週間の課題解決型集中短期研修プログラムです。参加学生は、担当の教員が設定した体験学習やフィールドワーク、特色ある英語や現地語講座等に参加し、さまざまな学習の機会を得ることができます。さらに、現地学生やコミュニティメンバーとの交流等、日本では得られない貴重な体験を通じて、国際的な視野を育むことを目指します。

全学教育科目「海外研修(展開2)」又は「海外研修(展開)」として実施されますので、所定の成績を収めた学生には、2単位が付与されます。なお、FLプログラムは、東北大学が外部旅行会社に運営の一部を委託して実施します。FLプログラムの概要や応募方法に関する説明動画を視聴することができますので、ISTUの以下URLからご覧ください。

<https://istu3g.dc.tohoku.ac.jp/istu3g/CourseContents/listview?qsCourse=63182>

### 1. 実施プログラム詳細

別紙【2020年春ファカルティレッドプログラム/FL一覧】参照

### 2. 募集から報告会までの流れ

内容	日時	会場等
募集開始	9月27日(金)	応募用ウェブサイト「スパイラル」*で応募書類受付開始(*「IV. 応募方法」参照)
募集説明会	10月9日(水) 12:00~13:00 10月10日(木) 12:00~13:00	川内南キャンパス 文科系総合講義棟 1階コモンスペース
募集締め切り	10月20日(日) ~23:59	応募用ウェブサイト「スパイラル」*で応募書類受付終了
選考結果発表	10月31日(木)	メールで結果発表
第1回事前研修	11月19日(火) 18:30~20:30	川内北キャンパス 講義棟A棟
第2回事前研修	12月12日(木) 18:30~20:30	川内北キャンパス 講義棟A棟
第3回事前研修	1月14日(火) 18:30~20:30	川内北キャンパス 講義棟A棟(予定)
第4回事前研修	1月21日(火) 18:30~20:30	川内北キャンパス 講義棟A棟(予定)
現地研修	2月~3月	
事後研修	4月2日(木) 18:30~20:30	川内北キャンパス 講義棟A棟(予定)
事後報告会	4月15日(水) 18:30~20:30	川内北キャンパス 講義棟A棟(予定)

## II. 応募条件

### 1. 応募資格:

全学部生、大学院生(学年不問) ※非正規生は応募できません。

### 2. 応募要件:

以下のすべての条件を満たすこと。

①10月18日(金)17:00までに学生教育研究災害傷害保険(学研災)の加入手続きを済ませること(未加入の

場合)。

- ②パスポートを取得または申請をしていること。
- ③プログラム参加に支障のある健康上の問題、懸念事項がないこと。
- ④プログラム毎の以下の条件を満たしていること。

スペイン : これまでにスペイン語を学習したことがあること。

スイス : 仏検(実用フランス語技能検定試験)3級以上、または、DELF A2以上を取得していることが望ましい。なお、未受験者の方も応募可能ですが、その場合は課題作文や学業成績を総合的に判断します。

ドイツ : TOEFL-ITP®のスコアが500以上であること。なお、未受験者やスコア500未満の方も応募可能ですが、その場合は課題作文や学業成績を総合的に判断します。

### III. 応募期間

---

応募受付開始: 2019年9月27日(金)

応募受付終了: 2019年10月20日(日) ~23:59

### IV. 応募方法

---

#### 1. 応募方法

応募用ウェブサイト「スパイラル」(<https://reg31.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=mepf-lbogob-3aba3718cffe3c98423a6fbd095c0df8>)に設置の応募フォームに必要事項を入力するとともに、課題作文と誓約書、並びに英語試験スコアレポート(任意)を「スパイラル」へ提出してください。

※ 編入学生や他大学の学部を卒業した大学院学生は、上記に加えて、学部入学時から現在までの成績証明書の提出が必要です。

※ 「スパイラル」は、東北大学がFLプログラムの運営の一部を委託する旅行会社が運営・管理するオンライン登録システムです。「スパイラル」の利用方法に関する質問がある場合は、4頁に記載された問い合わせ先にご連絡ください。なお、応募の際に入力された個人情報は、FLプログラムに関する手続きや各種連絡の目的でのみ利用します。また、個人情報の取り扱いについては、委託先を厳重に管理・指導します。

※ スキャンデータやPDFデータの作成方法等、パソコン操作に関する質問がある場合は、マルチメディア教育研究棟(川内北キャンパス)1階に常駐のテクニカルアシスタントへ相談して下さい。

(<http://www.cite.tohoku.ac.jp/calender.html>)

#### 2. 応募書類作成上の注意

##### (1) 課題作文(1)+(2) (全員提出)

「スパイラル」から課題作文入力用紙をダウンロードし、課題作文を作成してください。課題作文は、入力用紙の中で指定された言語、および、語彙数で作成する必要があります。作成後はPDF化し、「スパイラル」に提出してください。

##### (2) 誓約書 (全員提出)

「スパイラル」から誓約書をダウンロードし、印刷したものに直筆で署名・押印してください。保証人による署名・押印も必要です。応募者本人(学生)と保証人の双方の署名・押印がされた誓約書をスキャナで取り込み、PDF化して「スパイラル」に提出してください。

※ 保証人が日本国外に居住している場合であっても、誓約書には保証人の直筆の署名が必要となります。

保証人が和文の誓約書を理解することが難しい場合、英文誓約書を利用してください。和文か英文、いずれか一方の誓約書のみで結構です。

※ 誓約書の原本は、参加候補者として決定後に、第1回事前研修で提出してください。

### (3) 語学試験スコアレポート（任意）

スコアレポートをお持ちの方はスキャナで取り込み、PDF化して「スパイラル」に提出してください。

### (4) 成績証明書【写し】（該当者のみ）

編入学生や他大学の学部を卒業した大学院学生は、学部入学時から現在までの成績証明書のコピーを2019年10月18日（金）17:00までに川内北キャンパス 教育・学生総合支援センター2階 留学生課海外留学係窓口に直接提出してください。成績証明書の提出は「スパイラル」ではありませんので注意してください。

※ 上記以外の学生の成績証明書は、留学生課で取り寄せますので、応募時に提出する必要はありません。

## V. 注意事項

---

以下の内容を必ず読み、理解した上で応募してください。

- 募集要項、プログラム一覧、Q&A、シラバス（東北大学全学教育ウェブサイト 学務情報システムより検索 [https://www.srp.tohoku.ac.jp/sa\\_gj/slbsskgr.do](https://www.srp.tohoku.ac.jp/sa_gj/slbsskgr.do)）をすべてよく読み、理解した上で応募してください。
- 選考結果発表後の辞退は原則として認められません。 事前・事後研修、報告会、移動日も含めた現地研修の日程等、必ず参加できることを確認した上で応募してください。なお、所属学部等の追試験・再試験期間と、移動日も含めた現地研修の日程が重なっているFLのプログラムがある場合、そのプログラムへの応募はできません。
- スタディアブロードプログラム（SAP）との併願は可能です。ただし、FLプログラムに合格した場合はFLプログラムを第一優先に参加することが併願の条件となります。また、SAP以外のグローバルラーニングセンター及び所属学部等が主催する類似の海外研修プログラムとの併願については、FLプログラムの事前・事後研修、報告会、移動日も含めたすべての研修日程に参加できる場合に限り、可能です。
- 危機管理上の理由からFLプログラムへの途中参加・一部参加は如何なる理由であっても一切認められません。追試験や再試験であっても認められませんので、必ず事前に試験日程を確認してください。
- 選考結果についての申し立てや、不合格理由の説明を求めることはできません。
- FLプログラムには、現地研修に加え、事前・事後研修、報告会の参加、報告書作成や各種提出物の準備が含まれます。FLプログラムへの参加にあたっては、全学教育科目「海外研修（展開2）」又は「海外研修（展開）」を履修する・しないに関わらず、これらの研修等すべてに参加し、与えられた課題を提出することが義務付けられます。なお、課題や各種提出物の期限までの提出、事前・事後研修すべての参加が下記に記載する奨学金支給の条件となります。
- 学部学生の場合、派遣先大学での受講料のうち、3万円を参加学生が負担し、残りは東北大学が負担します。大学院生の場合は、受講料は全額自己負担です。奨学金の詳しい支給条件は、Q & A「Ⅱ. 費用と奨学金について」の「Q2. 奨学金（月額8万円）は参加者全員が受給できますか？」で確認してください。
- 受講料以外に、往復の航空券等参加に係わる交通費、宿泊費、保険料、旅券査証申請費及び食費等がかかります。
- 既定の家計基準等を満たす場合、渡航支援金として16万円が支給される可能性があります。詳しい条件と提出書類は、Q&A「Ⅱ. 費用と奨学金について」の「Q3. 渡航支援金支給の詳しい条件と提出書類を教えてください。」

で確認してください。

- FLプログラムに参加決定後に事前・事後研修、事後報告会を許可無く欠席したり、必要書類の提出を怠ったりした場合は、奨学金や渡航支援金の支給対象外となる場合や、支給後であっても返還を求められる場合があります。
- FLプログラムに参加が決定した場合、全員、大学指定の海外旅行保険である「付帯海学」への加入が義務付けられます。付帯海学へ加入するためには、学生教育研究災害障害保険(学研災)に加入済みである必要があります。学研災に未加入の学生は、10月18日(金)17:00までに、学生支援課生活支援係(川内北キャンパス)で加入手続きを進めてください。
  - 学研災: <http://www.tohoku.ac.jp/japanese/studentinfo/studentlife/11/studentlife1101/>付帯海学への加入方法は、第1回事前研修で説明されます。
- FLプログラム期間中、所定の滞在先以外での宿泊(外泊)および滞在国外への渡航は認められません。
- FLプログラムに参加が決定した場合、11月19日(火)までにパスポートの顔写真ページのコピーの提出が必要となります(提出方法は選考結果発表時に案内されます)。パスポートを未取得の場合は、FLプログラム応募前にパスポートの申請を済ませてください。パスポートを取得済みの場合も、予め有効期限を確認し、研修終了後も有効期間が十分残っていることを確認してください。有効期間が1年未満の場合は、切替申請をする必要があります。
- 担当教員が必要と認めた場合は事前研修の回数が増える可能性があります。
- 大学の判断によりプログラムが中止・中断となる場合があります。その際に発生した一切の費用(キャンセル料や中断の場合の帰国旅費等)はすべて参加学生の負担となります。

## VI. 選考・結果通知

---

### 1. 選考基準:

学業成績、課題作文、語学力等を総合的に判断し、参加者を決定します。

### 2. 選考結果発表 :

2019年10月31日(木)にメールにて合格者ならびに不合格者へ連絡します。

## VII. 問い合わせ

---

株式会社JTB 仙台支店 (東北大学 FLプログラム業務委託指定会社)

FLプログラム係 担当: 田澤 康輝・戸張 正美

電話: 022-263-6726 ※受付時間 平日 09:30~17:30 (土・日・祝日休業)

Email: [faculty-led@jtb.com](mailto:faculty-led@jtb.com)